様式－２Ｋ①(土木用)　　工事番号

工事成績採点の考査項目別運用表

［記入方法］　該当する項目に１を入れる。　　（共通・監督員用）

評価項目	細別	a		b	c	d	e
1. 施工体制	Ⅰ. 施工体制一般	適切である。		ほぼ適切である。	他の事項に該当しない。	やや不適切である。	不適切である。
		該当	評価	「評価対象項目」		評価	評価
				□　施工計画書（変更計画書を含む）を工事着手前に提出している。		□　施工体制一般に関して、工事監督員が文書による改善指示を行った。	□　施工体制一般に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
				□　施工計画書と現場の施工体制が一致している。			
				□　作業分担と責任の範囲が施工体制台帳、施工体系図（全ての工事を対象）もしくは施工計画書で確認できる。			
				□　施工体制台帳、施工体系図（全ての工事を対象）が整備され、施工体制図も現場に掲げられている。			
				□　コリンズの登録（５百万円以上）が監督員の確認を受けた上で工期開始後１０日以内に行われている。			
				□　社内検査の時期、確認事項が工事全般にわたり良く把握されている。（社内体制が確立され、有効に機能している。）			
				□　社内検査員の身分（社員）、経歴が確認でき適正である。			
				□　建設業許可標識、法令その他必要な標識を公衆の見やすい場所に掲示している。			
				□　緊急指示、災害、事故等が発生した場合の体制が整っている。			
				□　「施工プロセスのチェック」、「工事現場等における施工体制点検・確認要領」で指摘事項がなかった。			
				□　その他（理由：　　）			
				該当項目の内達成項目が９０％以上……ａ			
				該当項目の内達成項目が８０％～９０％未満……ｂ			
		評価率		該当項目の内達成項目が８０％未満……ｃ			
		評定		※該当項目が２項目以下の場合はｃ評価とする。			
		点数					